2020年度の取組結果について

資料１

１　2020年度の取組結果

神奈川県石油コンビナート等防災計画の推進に向けて、2020年度の取組方針に基づき、以下の内容を実施した。

◆　特定事業所の予防対策の促進

◆　応急活動体制の強化に向けた訓練の充実

【2020年度の取組方針】

※2019年度神奈川県石油コンビナート等防災本部幹事会（2019年11月29日）において上記方針を決定

（１）特定事業所の予防対策の促進

特定事業所の予防対策を促進するため、次の①～③を実施。

1. 取組状況調査の実施　資料１－１

特定事業所における「予防対策の取組状況」について、全７８事業所を　対象としたアンケート調査した。  
　また、関係機関との合同立入調査において、追加聴取を実施した。

1. 予防対策に関する周知及び情報提供　資料１－２

取組状況調査の結果について、2021年３月開催予定の防災管理者研修会　等の場で紹介するとともに、特防協の役員会等に出席することで、周知及び　情報提供をする。

また、住民に対しても、取組状況調査結果を分かりやすく取りまとめ、　公表する。

1. 国への要望　参考資料２

全国石油コンビナート立地道府県協議会等の場で、国に対して提案書を　提出した。

（２）応急活動体制の強化に向けた訓練の充実

石油コンビナート等特別防災区域での災害発生時に、特定事業所の被害状況を関係機関が迅速に把握・共有する体制を維持するため、ＦＡＸ等による「情報受伝達訓練」を行った結果、59の特定事業所が参加、概ね適切に行われた。（2020年８月20日実施済）

また、石油コンビナート等特別防災区域における災害発生直後の初動対応の習得・習熟 及び 関係各機関同士の連携を維持するため、主に初任者に向け、災害対策本部を主体とした情報の受伝達等、各機関の主な活動内容について、スライド資料を用いた講義形式の「合同図上訓練」を実施し、関係機関から計50人の参加があった。（2020年11月10日実施済）

２　その他資料１－３

　　　ドローンなどの先進技術を活用したスマート保安導入に向け、昨年度より検討を進めていた「先進技術を活用したプラント保安に係る実態調査」については、今年度における実施内容の検討及び来年度における神奈川県高圧ガス保安協会への委託を見送ることとした。

以上